

開発品(2021年8月2日現在)

領域	開発No. (一般名) [製品名]	作用機序 (剤型)	適応症	ステージ	起源	開発
感染症	S-649266 (セフィデロコルトシル酸 塩硫酸塩水和物) [米国:Fetroja®] [欧州:Fetroja®]	細胞壁合成阻害 (注射)	他の治療がないまたは 限定される腎盂腎炎を 含む複雑性尿路感染 症、院内肺炎(米国) 治療が限定される好気 性グラム陰性菌による 感染症(欧州)	グローバル:フェーズⅢ (小児) 米国:承認(複雑性尿路 感染症)(2019年11月) 米国:承認(院内肺炎) (2020年9月) 欧州:承認(2020年4月)	自社	自社
	S-033188 (パロキサビル マルボ キシル) [日本:ゾフルーザ®]	キャップエンドヌクレア ーゼ阻害 (経口・顆粒)	インフルエンザウイルス 感染症	日本:承認(体重20kg以 上)(2018年9月) 日本:申請(体重20kg未 満)(2018年8月)	自社	自社/Roche (スイス)
	S-648414	未公表 (経口)	HIV感染症	米国・日本:フェーズⅠ	自社	自社
	S-268019	ワクチン(筋注)	新型コロナウイルス感 染症の予防	日本:フェーズⅠ/Ⅱ	自社	自社
	S-217622	3CLプロテアーゼ阻害 剤(経口)	新型コロナウイルス感 染症の治療	日本:フェーズⅠ	自社	自社
疼痛・神経	S-297995 (ナルデメジントシル酸 塩) [日本:スインプロイク®] [米国:Symproic®] [欧州:Rizmoic®]	末梢性オピオイド受容 体アンタゴニスト (経口・散剤)	オピオイド誘発性便秘 症(小児)	欧州:フェーズⅠ/Ⅱ	自社	自社
	S-120083	未公表 (経口)	炎症性疼痛	日本:フェーズⅠ 米国:フェーズⅡ	自社/Purdue (米国)	自社/Purdue
	S-010887	未公表 (経口)	神経障害性疼痛	日本:フェーズⅠ	自社	自社
	S-117957	未公表 (経口)	不眠症	米国:フェーズⅠ	自社/Purdue (米国)	自社/Purdue
	S-600918 (sivopixant)	P2X ₃ 受容体アンタゴニ スト(経口)	神経障害性疼痛	日本:フェーズⅠ	自社	自社
	S-600918 (sivopixant)	P2X ₃ 受容体アンタゴニ スト(経口)	難治性・原因不明慢性 咳嗽	グローバル:フェーズⅡ	自社	自社
	S-600918 (sivopixant)	P2X ₃ 受容体アンタゴニ スト(経口)	睡眠時無呼吸症候群	日本:フェーズⅡ	自社	自社
	S-637880	未公表 (経口)	神経症状を伴う慢性腰 痛	日本:フェーズⅡ	自社	自社
	S-812217 (zuranolone)	GABA _A 受容体ポジティ ブアロステリックモジュ レーター(経口)	うつ病・うつ状態	日本:フェーズⅡ	Sage(米国)	自社/Sage
	SDT-001	中枢作用に基づく、治 療用デジタルアプリ	ADHD患者の不注意症 状(小児)	日本:フェーズⅡ	Akili(米国)	自社/Akili
	BPN14770 (zatolmilast)	PDE4Dネガティブアロス テリックモジュレーター (経口)	脆弱X症候群	米国:フェーズⅡ	Tetra(米国)	自社/Tetra
	BPN14770 (zatolmilast)	PDE4Dネガティブアロス テリックモジュレーター (経口)	アルツハイマー型認知 症	米国:フェーズⅡ 日本:フェーズⅡ	Tetra(米国)	自社/Tetra
	S-237648	ニューロペプチドY Y5 受容体アンタゴニスト (経口)	肥満症	日本:フェーズⅡ	自社	自社
代謝疾患	ADR-001	ヒト他家脂肪組織由来 の間葉系幹細胞(注 射)	非代償性肝硬変	日本:フェーズⅠ/Ⅱ	ロート	自社/ロート
	S-723595	アセチルCoAカルボキ シラーゼ2阻害(経口)	非アルコール性脂肪肝 炎	日本:フェーズⅠ	自社	自社

領域	開発No. (一般名) [製品名]	作用機序 (剤型)	適応症	ステージ	起源	開発
フロンティア	S-588410	がんペプチドワクチン (注射)	食道がん	日本:フェーズⅢ	オンコセラピー・サイエンス (日本)	自社
	S-588410	がんペプチドワクチン (注射)	膀胱がん	日欧:フェーズⅡ	オンコセラピー・サイエンス (日本)	自社
	S-488210	がんペプチドワクチン (注射)	頭頸部がん	欧州:フェーズⅠ/Ⅱ	オンコセラピー・サイエンス (日本)	自社
	S-588210	がんペプチドワクチン (注射)	固形がん	英国:フェーズⅠ	オンコセラピー・サイエンス (日本)	自社
	S-222611 (epertinib)	HER2/EGFRデュアル阻 害薬(経口)	悪性腫瘍	欧州:フェーズⅠ/Ⅱ	自社	自社
	S-770108	抗線維化作用 (吸入)	特発性肺線維症	日本:フェーズⅠ	自社	自社
	SR-0379	肉芽形成促進作用 (外用)	皮膚潰瘍(褥瘡, 糖尿病性潰瘍)	日本:フェーズⅢ	ファンベップ (日本)	自社/ファンベップ
	S-005151 (レダセムチドリフルオ ロ酢酸塩)	間葉系幹細胞を末梢血 に動員 (注射)	脳梗塞	日本:フェーズⅡ	ステムリム (日本)	自社
	S-005151 (レダセムチドリフルオ ロ酢酸塩)	間葉系幹細胞を末梢血 に動員 (注射)	表皮水疱症	日本:フェーズⅡ(申請準備中)	ステムリム (日本)	自社

<導出品>

開発No. (一般名) [製品名]	作用機序 (剤型)	適応症	ステージ	起源	開発
S/GSK1265744 LAP*1 (cabotegravir)	インテグラーゼ阻害 (注射)	HIV感染症(治療 及び予防)	(CAB*2 LAP+RPV*3 LAP 2剤療法) カナダ:承認(2020年3月) 米国:承認(2021年1月) 欧州:承認(2020年12月) (CAB LAP、予防適応) グローバル:フェーズⅢ	Shionogi-ViiV Healthcare	治療: ViiV Healthcare (英国) 予防: ViiV、HPTN、 NIAID、Gilead (米 国)
S-0373	非ペプチド型TRHミメ ティック (経口)	脊髄小脳変性症	日本:フェーズⅢ(申請準備中)	自社	キッセイ薬品 (日本)
S-033188 (バロキサビルマル ボキシル) [米国: Xofluza™]	キャップエンドヌクレ アーゼ阻害 (経口)	インフルエンザウ イルス感染症	米国:承認(2018年10月) 米国:承認(ハイリスク患者)(2019年10月) 米国:申請(小児、1歳以上)(2020年3月) 米国:承認(顆粒、12歳以上)(2020年11月) 米国:承認(予防投与、12歳以上)(2020年11月) 欧州:承認(治療、12歳以上)(予防投与、12歳以上)(2021年1月) グローバル:フェーズⅢ(小児、1歳未満) グローバル:フェーズⅢ(伝播抑制)	自社	自社/Roche (スイ ス)
S-555739 (asapirant)	プロスタグランジンD2 DP1受容体拮抗 (経口)	COVID-19の重症 化抑制	米国:フェーズⅡ	自社	BioAge (米国)

*1 Long acting parenteral formulation、*2 Cabotegravir、*3 Rilpivirine

2021年5月10日からの変更点

ステージの変更	SR-0379(皮膚潰瘍): 日本:フェーズⅡ→フェーズⅢ
開発品の追加	S-217622(新型コロナウイルス感染症の治療): 日本:フェーズⅠ